


御幸地区

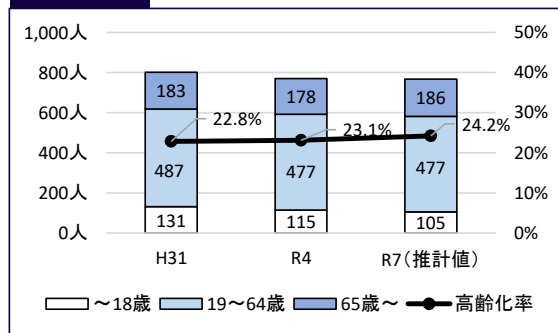
◆概要

	【位置図】	まち協名	御幸地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市東御幸町220-3	電話	0595-83-1232
		地区構成	東御幸町 御幸町		
		地域特性	<p>亀山市中心から東に位置し、東西に旧国道1号が縦断しており、沿道にはショッピングセンターをはじめ、飲食店舗、金融機関、文化会館が存しており、JR亀山駅が近く利便性が高い地域です。また駅前再開発により令和4年度に市立図書館も整備されます。アパートやマンションへの新しい住民の流入が増加する一方、古くから住んでいた家屋が空家になるケースが増えつつあります。また一級河川の鈴鹿川やそこに流れ込む竜川があり、過去に幾度か氾濫し水害の被害に見舞れ、災害への危険性もあり備えが必要です。</p>		
面積	66.4ha	ホームページ	http://www.zc.ztv.ne.jp/ec5svfnh/index.html		
めざす姿	生活環境が良く、安全安心に暮らせるまち				
地域の誇り	亀山機関区時代の名残である電動自転車台や給水塔				

◆人口

	平成31年	令和4年	令和7年 (推計値)	増減	
総人口	801人	770人	768人	-31人	
人口密度	12.06人/ha	11.59人/ha	11.56人/ha	-0.47人/ha	
65歳以上	人口	183人	178人	186人	-5人
	比率	22.8%	23.1%	24.2%	0.3%
18歳以下	人口	131人	115人	105人	-16人
	比率	16.4%	14.9%	13.7%	-1.4%
外国籍	人口	69人	58人		-11人
	比率	8.6%	7.5%		-1.1%

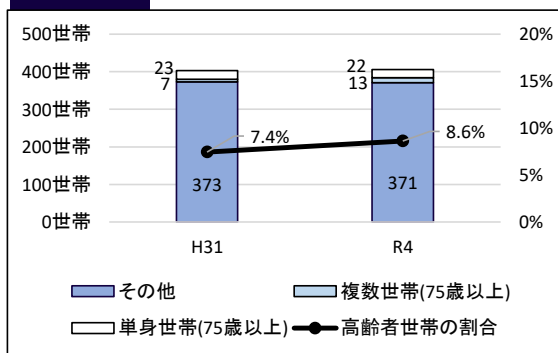
◆人口推移



◆世帯

	平成31年	令和4年	増減
総世帯	403世帯	406世帯	3世帯
単身世帯 (75歳以上)	23世帯	22世帯	-1世帯
複数世帯 (75歳以上)	7世帯	13世帯	6世帯
高齢者世帯割合	7.4%	8.6%	1.2%

◆世帯推移



◆介護保険認定者

	平成31年	令和4年	増減
要支援1.2	11人	13人	2人
要介護1~5	19人	17人	-2人
合計	30人	30人	0人

◆地域組織

	平成31年	令和4年	増減
自治会	9	9	0
老人クラブ	0	0	0
子ども会	1	1	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	2
福祉委員	9
介護保険施設・事業所	1
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	0
児童福祉施設・事業所	1
病院・診療所	2
歯科	2
保育所	0
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	0
放課後子ども教室	0
子育て支援センター	1
学校(小・中・高)	0
乗り合いタクシー停留所	16

◆担当地域包括支援センター

亀山第2地域包括支援センター もくれん

◆サロン活動

	平成31年	令和4年	増減
ふれあい・いきいきサロン	2	2	0
子育てサロン	0	0	0
コミュニティサロン	0	1	1

◆福祉委員会活動

◆構成員 まち協役員 民生委員・児童委員 福祉委員

◆活動内容

【交流活動】

高齢者と子どもとの三世代交流を深めるため御幸地区文化祭を行っています。

【訪問活動】

75歳以上一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯の見守り訪問活動を年6回行っています。

【その他】

出前講座や情報交換会を行っています。



文化祭



感謝のつどい

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・感謝のつどい
- ・文化祭
- ・ふれあい小旅行
- ・サロン活動
- ・自主防災活動

◆生活支援コーディネーターからのコメント

御幸地区の人口は770人で、そのうち23.1%にあたる178人が65歳以上です。地域内406世帯のうち、8.6%にあたる35世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の7.5%にあたる58人が外国籍です。地域の特色として、地区内には、大型のスーパー・薬局や、医療機関が徒歩圏内に立地し、非常に恵まれた生活環境であるといえます。また、まち協の拠点となるコミュニティセンターは、地区の中心に位置しているため、行事やサロンには参加しやすい環境であると考えられます。一方で、地区内には賃貸アパートが多くあり、自治会へ加入する世帯が少なく、それらの人との交流を図ることが難しい現状にあります。住民の命や暮らしを守る活動として、福祉と防災に重点を置いており、福祉委員による高齢者見守り訪問を年6～8回実施したり、防災世帯台帳を毎年更新するなど普段からのつながりを意識しながら取り組まれています。今後は、積極的に取り組んでいる福祉活動を通して地域内でお互いに支え合う意識の醸成を図り、助け合いのしくみづくりにつなげていくことが期待されます。